

適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	胸高直径**	使用液量	使用時期	使用方法	本剤およびホスチアゼートを含む農薬の総使用回数
まつ (生立木)	マツノザイ センチュウ	50倍	5~10cm	6ℓ	マツノマダラカミキリ 成虫発生 2~3ヶ月前	土壌灌注	1回
			10~15cm	8ℓ			
			15~20cm	12ℓ			
			20~25cm	18ℓ			
			25~30cm	26ℓ			
30~35cm	38ℓ						
35~40cm	52ℓ						
樹木類	ネグサレセンチュウ	1000倍	-	-	移植前	10分間根部浸漬	
せんりょう			-	0.5ℓ/株 (但し、2.5ℓ/m ² まで)	生育期	株元灌注	

*樹の胸高直径(cm)に応じて調製する ★40cm以上では胸高直径が5cm増すごとに18~30ℓを順次増量

使用上の注意事項

- 本剤を松に使用する場合、樹の中心から胸高直径の約2~3倍を半径とする同心円上を処理位置の目安とし、所定量を1箇所2ℓ程度土壌灌注してください。一度に灌注が困難な場合は、分割して灌注してください。
- 本剤を松に使用した場合、土壌条件、松の根の生育状況により、効果不足となることがあるので注意してください。
- 本剤を松に使用する場合、胸高直径に応じて使用液量を灌注しますが、極端に胸高直径に比べ、樹高が低い場合に葉害を生じることがあるので注意してください。
- 庭園松などは、胸高直径に比べ材積量が少ないことから、樹体内の薬剤濃度が高くなり、一部の針葉の黄化・褐変を生じることがあるので、灌注量は通常の半量~1/4量を目安とし、材積量を勘案した液量を灌注してください。
- 本剤を松に使用する場合、健全に生育していることを確認した後に使用してください。特に庭園松などの造形木は樹勢が衰えている場合が多く、慎重に対応してください。施工可能と判断されたものについては、施主や所有者の同意に基づき諸注意事項を厳守し、対応してください。
- 本剤を松に使用する場合、移植、植替え間もない時期には、使用しないでください。根が活着していることを確認した後に使用してください。
- 樹木類に根部浸漬する場合、幼木や樹高の割に根鉢・根巻きが極端に大きな場合には葉害を生じることがあるので注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。
- 蚕に対して、長期間毒性があるので、桑園に飛散しないように注意してください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては、必ずラベルをよくお読みください。本剤をはじめて使用する場合及び庭園松などの強剪定された松に使用する場合は、松保護士、樹木医、その他の専門的知識を有する林業技術者、病虫害防除所などの関係機関の指導を受けることをお勧めします。

安全使用上の注意



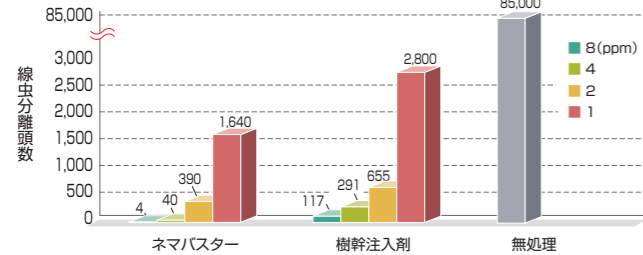
- ①医薬用外劇物ですので、取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
 - ②本剤の解毒剤としては動物実験で硫酸アトロピン製剤が有効であると報告されています。
 - ③本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
 - ④土壌灌注機を用いる場合は、機器の事前安全点検を行い、使用時は必ずゴーグルか作業用メガネを着用してください。
 - ⑤散布の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするのと同時に衣服を交換してください。
 - ⑥作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
 - ⑦かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
 - ⑧街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係ない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。
 - ⑨水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意して使用してください。
 - ⑩危険物第四類、第三石油類に属しますので火気には十分注意してください。
 - ⑪保管の際は、火気や直射日光を避け、食品と区別して、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。盗難、紛失の際は、警察に届けてください。
 - ⑫衣服等に付着すると着色するので取扱いに注意してください。
- ★空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

- 使用前にラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届く所には置かないでください。

試験事例

マツノザイセンチュウの増殖阻害活性

(平成15年 石原産業株式会社 中央研究所)

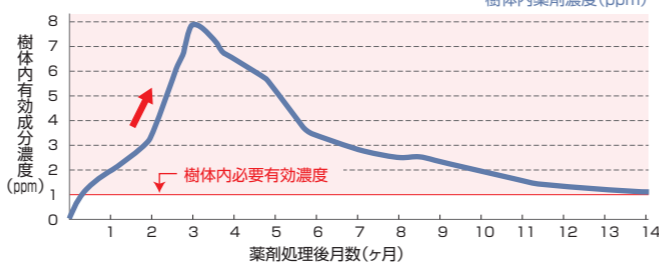


試験方法: ネマバスターと樹幹注入剤を所定濃度含む各培地(BC菌を繁殖させたPDA培地)に、マツノザイセンチュウを接種して25℃・10日間培養後、その線虫数を計数した。

試験結果: ネマバスターは1ppmで98.1%、2ppmで99.5%、4ppm及び8ppmでは100%の増殖阻害効果を示した。

薬剤処理後の樹体内有効成分濃度の推移

(平成12年 石原産業株式会社 中央研究所)



試験方法: 所定量を土壌灌注後、経時的にまつの幹(地上4~5m付近)から電動ドリルを用いて材粉を採取し、ホスチアゼート(ネマバスター)濃度を分析した。

試験結果: ネマバスター処理1ヶ月後には有効濃度の目安とする1ppm以上に達し、3ヶ月後にはピークを示した。その後、徐々に減少したが、14ヶ月後においても有効濃度を保った。

センチュウ検定
無料サービス実施中

詳しくは 石原テレホン相談室
0120-1480-57

ホームページアドレス
<https://ibj.iskweb.co.jp>

松枯れ防除の殺センチュウ剤

ネマバスター

ホスチアゼート……30.0%
人畜毒性: 劇物

三石・Ⅲ・火気厳禁
飽和ジカルボン酸ジメチルエステル



根から吸わせて
大事な松を守る



- 松を傷めず
マツノザイセンチュウ防除
 - 優れた殺センチュウ効果
 - 速効的に効果を示し、
残効性は、1ヶ年
 - 樹脂量に影響されず
広い処理適幅
- 松枯れ防除の
殺センチュウ剤

